

モーリタニア月例報告
(2024年9月)

2024年10月
在モーリタニア日本国大使館

【内政】

9月14日 AU議長及びAUC委員長による共同声明

【外政】

9月 1日から 3日 経済・財務大臣のインドネシア・アフリカ・フォーラム
出席

9月 2日から 6日 中国・アフリカフォーラム (FOCAC)

9月21日から29日 ガズワニ大統領の国連総会への出席等

9月22日 第3回アフリカ疾病管理予防センター首脳委員会コ
ミュニケ

9月23日 未来サミット ガズワニ大統領の演説

9月23日 アフリカと炭素市場の資金調達に関するフォーラム
ガズワニ大統領の演説

9月24日 第79回国連総会 ガズワニ大統領の一般討論演説

9月25日 気候変動に関するアフリカ首脳委員会ハイレベル会合
ガズワニ大統領の演説

【内政】

● AU議長及びAUC委員長による共同声明

(9月14日付、当地政府系メディアAMI)

1 我々、ガズワニ・モーリタニア大統領・現AU議長及びファキAUC委員長は、それぞれの立場で、アフリカ大陸におけるエムポックス流行の推移を注視している。特に、我々は、2024年9月13日(第35疫学週)時点で、アフリカCDCが発信した、エムポックスの進展とその蔓延に対する取組みに関する詳細な報告に接している。

2 確定症例5,732人を含む26,544人の症例と724人の死亡という報告は、憂慮すべきことであると同時に心配すべきことでもある。アフリカのどの地域でも、この病気の蔓延を免れることはできないようである。

3 我々は、この伝染病が特に弱い立場にある2つのグループ、子ども及び女性に与える影響を深く懸念している。

4 我々は、アフリカCDCのこの健康危機に対する積極的な管理、特にWHOとの全面的な協力のもと、エムポックスを大陸公衆衛生安全緊急事態(USPSEC)として適時に宣言したことを歓迎する。我々は、アフリカCDCに対し、この分野における世界的なプレーヤーであるWHOとの持続的な連携を継続するようコミットさせる。

5 我々は、AUの全加盟国に対し、監視・検査システムを強化し、最も弱い立場にある人々を優先し、最も弱い立場にある地域社会がワクチンを手に入れるよう、啓発とワクチン接種キャンペーンを強化するよう求める。

6 このような例外的な状況において、アフリカの連帯は、最も影響を受けている国々の莫大なニーズを考えると、緊急かつ必要不可欠なものである。エムポックスの蔓延を食い止めることは、集団の責任である。そのためには、最も被害を受けている国々への援助を動員し、組織化する必要がある。

7 アフリカにおけるこの流行に終止符を打つには、6億ドルと1000万本以上のワクチンが必要である。ウイルスの蔓延を食い止めるためには、ワクチンの迅速かつ効果的な投与を弱点なく実施することが不可欠である。

8 この機会に、すでに多大な貢献をしてくれているすべての国際的パートナー

一に心からの謝意を表するとともに、さらなる努力の倍加を促したい。

9 我々は、まだ約束を履行していない他のすべてのパートナーに対し、可能な限り早急に約束を履行するよう緊急アピールを開始する。

10 我々は、国際社会に対し、エムポックス大陸準備・対応計画の成功と有効性を確保するための努力を強化するよう正式に呼びかける。

11 我々は、アフリカCDC首脳委員会ハイレベル会合が数日以内に開催されることを発表する。

12 この会合には、この流行への対応を強化し、大陸計画を支援するために必要なすべての財源を動員するために、地域経済共同体の議長、感染国の首脳及び国際的パートナーが出席する。

13 我々は、すべてのパートナーに対し、アフリカとの連帯を示し、組織的、秩序ある、首尾一貫した方法で、大陸対応計画を支援するよう、強く、切に呼びかける。

【外政】

●経済・財務大臣のインドネシア・アフリカ・フォーラム出席

(9月2日付、当地政府系メディアAMI)

1 ブー経済・財務大臣は、ガズワニ大統領の代理で、「マルチステークホルダー・パートナーシップの強化：変革に向けて」をテーマとしてインドネシア・バリ島で開催された第2回インドネシア・アフリカ・フォーラム及びマルチステークホルダー・パートナーシップに関するハイレベル・フォーラムに出席した。

2 同大臣はこの日のスピーチで、アフリカ大陸が直面する最も重要な課題、特に経済発展、平和と安全の強化及び若者のための適切かつディーセントな雇用の創出に関する課題を総括した。

3 経済状況、債務負担及び自然災害はすべて、アフリカ大陸の力強く持続可能な成長につながる道を大幅に遅らせる障害となっている、と同大臣は述べ、緊張の温床の拡散、外部ショック及びテロの運動の広がりにより、アフリカ全体の平和と安全の強化が課題となっている、と付け加えた。

4 同大臣はまた、最も差し迫った課題は人口の50%以上を占め、今後20年以内に60%強に達すると予想されるアフリカ大陸の若者の問題であると強調した。

5 AUのアジェンダ2063は、アフリカ大陸の将来ビジョンであり、我々が共有するアフリカへの希望、意志及び願望でもある。

6 同大臣は、インドネシア・アフリカ協力フォーラムの第2回会合は、アフリカ諸国がパートナーとの協力を多様化し、深める多くの機会を持っていることを確認するものであると述べ、インドネシアとアフリカ諸国は今日、類似性により収斂、協力及び統合の要因である多くの分野で、探求し開発する貴重な経済的機会を見出していると指摘した。

7 同大臣は、両者は歴史的な瞬間に直面しており、貿易・経済協力をさらに発展・多様化させる強固な関係を構築する真のチャンスであると指摘し、AfCFTAはこれを実現する真の機会であると述べた。

8 また、アフリカとインドネシアのパートナーシップは、知見の共有、天然資源の加工、若者の職業訓練、DX、イノベーション、能力構築、さらには天然資源や海洋資源の開発といった分野でも協力を加速させることができると強調した。

9 同大臣は、再生可能エネルギー、グリーン水素及び貴金属などの分野における莫大な天然資源と比較優位性を持つモーリタニアが提供する投資機会について言及し、両国の民間セクター間の実りあるパートナーシップの面でも、直接投資の面でも、インドネシアとの提携の将来を豊かなものにすると述べた。

10 同大臣はインドネシアに対し、G20のメンバーとして、特に世界金融システムの改革、一部の国の経済を圧迫している持続不可能な債務の解決、国連安全保障理事会におけるアフリカの常任理事国入りに向けて、AU諸国による、国際機関における積極的、公正、公平な存在感と代表性を発揮するための努力を支援するよう呼びかけた。

●中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）

（9月2日から6日付、当地メディア各社）

1 2日、ガズワニ大統領は、中国の習近平国家主席の招待を受け、中国・アフ

リカ協力フォーラム首脳会議に出席するため、ヌアクショットを出発し、北京に向かった。

今回の大統領の訪問には以下を含む大規模な代表団が随行している。

- ・ ダー大統領夫人
- ・ シュルーカ大統領府官房担当大臣
- ・ メルズーグ外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大臣
- ・ ブー経済・財務大臣
- ・ ヴィラリ駐中国モーリタニア大使
- ・ ファールAU大使
- ・ アブデルファッタ・セネガル川開発機構高等弁務官
- ・ バヒニ大統領府企画官
- ・ エル・ラドヒ大統領府顧問
- ・ ウルド・アフメド国家儀典総局長

2 3日、ガズワニ大統領は、北京で習近平中国国家主席と会談した。両首脳は、両国間関係及び中国・アフリカ関係について議論した。ガズワニ大統領は、「団結して近代化を推進し、未来を共有するハイレベルな中国・アフリカ共同体を構築する」をテーマに4日から6日まで開催される中国・アフリカ協力フォーラム第9回首脳会議に参加するため、3日に北京に到着した。

3 3日、ガズワニ大統領は、中国の首都北京で蔡奇中国共産党中央委員会政治局常務委員と会談した。両氏の会談では、モーリタニアと中国の間に存在する強固な友好関係、それを発展させる方法、中国・アフリカ協力、中国・アフリカ協調の主要な展望に加え、中国・アフリカ協力フォーラム首脳会議の議題についても話し合われた。

4 4日から6日にかけて開催される中国・アフリカ協力フォーラム首脳会議に向けた第9回閣僚準備会議が3日、中国の首都北京で開催され、メルズーグ外相及びブー経済・財務大臣が参加した。メルズーグ外相はスピーチを行い、アフリカ大陸の国々、特にモーリタニアが直面している様々な開発課題に対する中国の絶え間ない支援に謝意を表し、アフリカの債務危機の解決における中国の支援と、新型コロナ・パンデミックにおけるアフリカ諸国への中国の支援を強調した。準備会議では、4日、ガズワニ大統領が出席する首脳レベルで開催されるサミットの議題と、北京宣言2024及びその行動計画2025－2027が採択された。両大臣には、ファールAU大使、モハメド経済・財務大臣経済顧問、ナニ金融・経済協力局長らハイレベルの代表団が同行した。

5 4日に予定されている第9回中国・アフリカ協力フォーラム首脳会議のための国際メディアセンターが2日、北京国際会議センターで開設された。同メディアセンターでは、同フォーラムの最初の記者会見が行われ、複数の中国の責任者が、今回のサミットに対する中国とアフリカ諸国の期待や、両者の協力の規模に関する記者の質問に答えた。2000年に設立された中国・アフリカ協力フォーラムは、中国と国交のあるアフリカ諸国とAUCが集まり、北京とアフリカの主要都市で交互に開催されている。過去11年間、中国企業はアフリカ諸国において、1万kmを超える鉄道、約10万kmの自動車道、1000の橋、100の港湾、6万6000kmの送変電線、15万kmの基本的な通信網の建設と改修に参加してきた。この共同協力のおかげで、本年最初の7か月の中国の対アフリカ輸出入額は1兆1900億元に達し、5.5%増加した。2023年、中国とアフリカの貿易額は史上最高を記録し、中国は15年連続でアフリカ最大の貿易相手国という優位性を保持する。

6 ガズワニ大統領と習近平中国国家主席の会談

(1) 3日、中国の習近平国家主席は、中国・アフリカ協力フォーラム首脳会議に出席するために北京を訪れているガズワニ大統領と会談した。

(2) 両首脳は共同で、(モーリタニア・中国)二国間関係を戦略的パートナーシップに格上げすることを発表した。

(3) 習国家主席は、両国は常に互いを尊重し、対等な立場で接しており、政治的な相互信頼は固く、協力は実り豊かで、両国民の間には深い友情があると強調した。

(4) 中国はモーリタニアとの「一帯一路」協力を推進し、漁業やインフラなどの分野での協力を深め、中国が支援する実証センターの役割を活用し、純菜栽培技術での協力を強化する用意があると述べた。

(5) 習国家主席は、ガズワニ大統領がAU議長として、来るFOCAC首脳会議の準備に積極的に貢献していることを歓迎した。

(6) 習国家主席は、ハイレベルの中国・アフリカ共有未来共同体を構築し、グローバル・ガバナンスにおけるグローバル・サウスの発言力と代表性を強化し、国際的な公平性と正義を共同で守るために、中国はモーリタニアと協力する用意があると述べた。

(7) ガズワニ大統領は、モーリタニアの経済・社会発展に対する中国の貴重な支援に感謝した。

(8) また、同大統領は、モーリタニアは、来たる首脳会議を成功させ、アフリカと世界全体の平和と発展を促進するために、中国と緊密に協力することを望

んでいると付言した。

7 ガズワニ大統領の演説

(1) ア まず始めに、第4回目となる中国・アフリカ協力フォーラムが首脳レベルで開催されたこと及びその綿密かつ完璧な開催について、習近平国家主席に心からお祝いを申し上げます。また、習国家主席、中国政府及び国民の皆様が、我々や我々に同行している代表団に多大な配慮と寛大さを示したことに感謝申し上げます。

イ また、今次首脳会議の共同議長である習近平国家主席とファイ・セネガル大統領に対し、双方の共通利益のために中国・アフリカ協力を深めることを大変重要視していることを、心から祝福する。

(2) ア 四半世紀にわたり、中国・アフリカ協力フォーラムはハイレベルのプラットフォームとして、また、中国・アフリカのパートナーシップの推進と発展のための効果的な枠組みとして機能しており、それは今日、南南協力の先導的なモデルであり、友好、尊重及び互惠の強固な基礎の上に、連帯及び協力の新たな架け橋を築き、双方の共通の発展を加速させることを可能にしている。

イ 中国とアフリカ諸国の目的は、今次首脳会議のモットーにもあるように、両者の関係を戦略的レベルに引き上げ、共に協力して近代化を推進し、明るい共通の未来のために質の高い中アフリカ関係を構築することである。

ウ 我々が策定した計画及び主導してきたイニシアティブを通じ、中国によるアフリカへの大規模な投資、特に港湾、道路、エネルギー及びデジタル等成長に資するインフラの促進を目的とした「一帯一路」イニシアティブの一環である投資のおかげで、我々は両者間の貿易レベルを記録的な水準まで引き上げ、2023年には2800億ドル以上に達することができた。

エ 特に、アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)の推進及びアジェンダ2063全般の目標達成への取組みによる経済統合を達成するために、アフリカ諸国はこれらの成長に資するインフラを緊急に必要としている。

オ したがって、我々は、習近平国家主席が演説の中で発表した、中国及びアフリカが多種多様な分野で実施する10の活動を歓迎し、大いに感謝する。また、発表された資金援助は、アフリカと中国の協力の多様化及び深化に貢献するものであり、大いに感謝する。

(3) ア 中国・アフリカのパートナーシップは、貿易や経済交流に基づくだけでなく、人類共通の運命に対する信念、すべての国及び国民に恩恵をもたらす持続可能で包括的な発展の必要性、世界の平和と安全の促進という優先事項の堅持及びすべての人が平和及び繁栄を享受できるよう、より公平で均衡のとれた多国間国際秩序の構築の必要性など、ビジョンや立場を強く共有している。

イ アフリカ大陸が直面している国内問題及び世界を揺るがす環境、経済及び安全保障上の危機の悪影響を考慮すると、アフリカ大陸の特殊性と優先事項がグローバル・アジェンダに考慮されるために必要な力をもって、安全と安定を確立し、成長を促進し、国際フォーラムにおける発言力を強化するためには、アフリカ大陸は今、中国の助けを必要としている。そのためには、多国間協力を推進し、国連システムの一定の側面を見直し、国際政治・金融ガバナンスをより公平で衡平かつ均衡のとれたものに再構築し、すべての開発途上国が同じ権利、同じ機会及び同じ待遇を得られるようにすることが必要であり、これはまさに、グローバルな開発、グローバルな安全保障及びグローバルな文明に資する「一帯一路」イニシアティブの下での中国とアフリカの協力に示されている。

(4) ア 実り多い中国・アフリカ協力の最も重要な表れの一つは、友好的な両国民の重大な利益及び国際平和・安全保障のために発展し続けているモーリタニアと中国との関係である。

イ 中国はモーリタニアの主要貿易相手国である。中国・モーリタニアの協力関係は、インフラ、漁業、保健、教育、輸送及びエネルギー等多くの重要な分野に及ぶ。

ウ モーリタニア国民は、1960年代初頭のヌアクショット市への飲料水供給、数多くの港湾、道路、構造物、国の建物 (batiments souverains) の建設及び様々な開発プロジェクト建設における中国の重要な役割に加え、COVID-19のパンデミックの際の中国の寛大な支援を決して忘れることはないだろう。

エ モーリタニアとしては、「一帯一路」イニシアティブ及び中国・アフリカ協力計画2035の枠組みにおいて、中国とのパートナーシップを強化し、またアフリカと中国の人々の願望実現のため、我々の戦略的地政学的位置、天然資源、野心的な開発戦略及び有望な投資・開発機会によって果たすべき役割を果たす決意である。

(5) 我々の首脳会議の成功を祈るとともに、本首脳会議が、近代化を促進し、明るい共通の未来のために中国・アフリカ関係をさらに強固なものとするための我々の共同の努力に、積極的かつ重要な影響を与えることを確信している。

8 (1) 4日、ガズワニ大統領は、北京にある数多くの大手企業を訪問した。

今回の訪問では、国際貿易に携わる巨大コングロマリットであるポリテクノロジーズ社 (Polytechnologies incorporated) を中心に、技術製品の研究開発と関連技術サービス、エンジニアリングとインフラの開発と投資、及び民生品の貿易と投資に焦点を当てた。

ガズワニ大統領はまた、中国航空宇宙技術輸出入公司 (CATIC) を訪問した。

中国企業訪問では、情報通信技術 (ICT) インフラとスマート家電の世界的

サプライヤーであるファーウェイも訪問した。

ガズワニ大統領はこれらの企業の本社を訪問し、その業務フローを学ぶとともに、各企業の様々な活動分野、最新のイノベーション及び中国外でのビジネス、また将来的なモーリタニアとのパートナーシップ構築の機会に関するプレゼンテーションに耳を傾けた。

(2) 4日、経済・財務大臣は、国家国際発展協力署(CIDCA)のYang Wu Tchun 副総裁と会談した。

会談の中で両者は、開発支援を目的とした中国からモーリタニアへの融資や無償支援について話し合い、双方の利益に資するため、それらの増加や多様化の可能性について検討した。

また、大臣とCIDCA副総裁は、ヌアクショットの衛生プロジェクトや友好病院の拡張など、特にインフラ分野での二国間協力強化の方法についても話し合った。

(3) 4日、北京で開催された第9回中国・アフリカ協力フォーラム首脳会議の margins で、ブー経済・財務大臣は、中国の「グローバル発展イニシアティブ」の実施を促進するため、CIDCAのYang Weiqun 副総裁と覚書に署名した。

中国の習近平国家主席が第76回国連総会で提案した「グローバル発展イニシアティブ」は、人々の一般的な福祉を促進し、バランスの取れた協動的で包摂的な成長の新たな段階に向けて世界の発展に舵を切ることで、経済を活性化し、より強く、よりグリーンな、バランスの取れた世界的発展を追求することを目的としている。

このイニシアティブは、国家間の格差を縮小することを目的とした「ロードマップ」である。同イニシアティブは、国連、100か国以上及び20以上の国際機関によって承認されており、多くの国際会議やフォーラムに盛り込まれている。

9 (1) 5日、ガズワニ大統領は、FOCAC首脳会議の一環として北京で開催された平和と安全に関するワークショップで、以下のスピーチを行った。

ア 平和と安全という、我々の国、大陸及び世界全体の将来にとって極めて重要な問題について、このワークショップで皆様と一緒できることは、大きな喜びである。

イ 平和と、それに付随する安全は、どのような社会組織や政治組織であれ、その存続と永続のために必要な条件であるだけでなく、持続可能な発展と繁栄のためにも必要な条件である。

ウ グローバル化、貿易の増加、デジタル革命の結果、我々の世界がグローバルな村となった今、平和と安全の問題は、もはや個々の国家レベルで長期的に

対処・解決できる問題ではなくなっている。

エ あらゆる紛争は、それがどこで発生し、どのような形態をとるにせよ、その原因と影響の両面において、常に地政学的な側面を強く帯びている。そのため、お互いの安全は相互に大きく依存している。

オ いかなる国家も、その周囲の国家が安全でなければ、長期的に安全であることはできない。また、他国の安全を犠牲にして自国の安全を築くこともできない。実際、それぞれの安全はすべての安全を必要とする。だからこそ、共にこそ、持続的な平和と安全、ひいては繁栄の共有を築くことができるのである。

カ そしてこれこそが、中国とアフリカのパートナーシップを支え、習近平国家主席が打ち出したさまざまなイニシアティブの背景となっている一連の価値観の意味と妥当性なのである。これらは本質的に、相互尊重、国民間の友好、文明の緊密化、暴力の否定及びすべての人の平和と繁栄のための協力という価値観である。

キ 今日、安全保障上の課題に立ち向かうために、すべての人々の協力、ひいては国際社会の積極的な連帯を本当に必要としている大陸があるとすれば、それはアフリカ大陸である。

ク この10年以上、アフリカでは緊張の温床が増加している。さらに悪いことに、さまざまな形態のテロ、社会政治的暴力、民族間の暴力が日々新たな地域に拡大し、国家を不安定化させ、地域全体を制御不能に陥れ、サヘル地域のような暴力的過激主義やあらゆる種類の人身売買の温床にしている。

ケ このような不安定な状況は、貧困、貧弱な統治、低開発及び展望の欠如が破壊的に融合して生まれたものである。

コ アフリカ諸国は、平和と安全に対する巨大な課題を克服することに絶えず関心を寄せており、アジェンダ2063において、アフリカ大陸の銃を封じるという目標を掲げている。

サ AUは、平和安全保障理事会と、大陸早期警戒システム（CEWS）やアフリカ待機軍（ASF）を含む多くの支援メカニズムを基盤とする平和と安全のアーキテクチャを通じて、この目標に取り組んでいる。

シ また、地域経済共同体の枠組みの中で開発された、不安定と闘う努力を調整するイニシアティブもある。

ス これに加えて、G5サヘルのようなサブ地域のイニシアティブもあり、多くの国際的な支援イニシアティブが動員されている。確かに、G5は組織としては活動を停止しているが、手段をプールし、努力を相乗させるといった精神は残っている。

セ また、特定の紛争に和平をもたらすために設立された組織もある。例え

ば、本ワークショップの共同議長であるサス・ンゲソ大統領が議長を務めるA U高等委員会などがそうである。

ソ アフリカにおける安全保障上の課題に対処するためには、以下のことが不可欠的に必要となる：

-暴力と不安定との闘いにおいて、手段を出し合う努力を継続的に強化すること

-国際社会が強力かつ積極的に連帯すること

-政治生活を落ち着かせ、対話とコンセンサスを通じて社会的不和と民族間の対立を克服すること

-大陸統合のプロセスを加速させ、ガバナンスを改善し、持続可能で包摂的な経済発展を構築すること。

タ そして、これらすべての面において、アフリカは、信頼できる最高のパートナーである中国の堅固かつ持続的な支援を頼りにできることを知っている。

チ 今朝、中国・アフリカ協力フォーラムで強く表明された、我々の協力関係を戦略的なレベルに引き上げるといふ共通の関心と、開発問題と安全保障問題の間にほぼ有機的な結びつきの力があるとの我々の明確な認識は、安全と安定の下、繁栄する共通の未来を共に築くために、我々の経済関係の発展と同時に安全保障協力を強化することを必要としている。

ツ 本日の習近平国家主席のスピーチの素晴らしい成果を踏まえ、本ワークショップにおける我々の議論が、アフリカと中国の平和、安全及び発展への道筋にさらなる光を当てるものと確信している。

(2) 4日、ガズワニ大統領夫妻は、FOCAC首脳会議に出席するアフリカの首脳らとともに、習近平国家主席夫妻主催の晩餐会に出席した。

(3) 5日、ガズワニ大統領は、中国兵器工業集団(NORINCO。大手武器メーカー)本社を訪問した。ガズワニ大統領は本社を訪問し、同社の事業について説明を受け、さまざまな活動分野、最新の技術革新、中国国外での事業、国際市場及び国内市場の開拓、及び国内外の資源の活用に関するプレゼンテーションに耳を傾けた。

(4) 6日、ガズワニ大統領は、アジア地域担当のアブダラヒ・ウルド・ブーク国民議会議員同席の下、北京で、中国に滞在中のモーリタニア人学生たちと面会した。

(5) ア 5日、FOCAC首脳会議のマージンで、Peng Li Wan中国国家主席夫人の招待により北京で開催された会議「中国とアフリカ、手を携えて：女性のエンパワーメントのためのメカニズムとしての教育」に、ダー大統領夫人が参加した。

イ 同大統領夫人はスピーチの中で、アフリカ諸国、そして世界全体が女性の

エンパワーメントを必要としていること、そしてその中で教育が重要な役割を担っていることを踏まえ、他のアフリカのファーストレディとともに参加するこの会議の重要性を強調した。

ウ　ダー大統領夫人は、モーリタニアの女性は同国の総人口の約52%を占め、行政、教育、農業、貿易及びサービスなど様々な分野で強い存在感を示していることを指摘し、また、意思決定の中心では政府・議会議員の約5分の1、自治体・地域議員の3分の1以上を占め、重要な役職に就いていると付言。

エ　モーリタニア政府は、女性の権利の保護と促進に関するすべての国際条約と憲章を批准しており、女性の地位向上のための北京プラットフォームのさまざまな更新に従って、女性の地位向上のために国際社会と協調していると述べた。

オ　また、モーリタニアの女性は教育や職業訓練の面で公的機関から特別な配慮を受けており、政府は社会的弱者、特に女性や高齢者、慢性疾患を患う人々に対する社会的ケアや援助のための特別なプログラムを策定していると強調した。

カ　同大統領夫人は、女性のエンパワーメントの最も強力な柱である教育を支援する国家的な取組みに貢献するため、また、個人的な経験からこの問題に強い関心を寄せており、教育問題、特に障害や特別な教育を必要とする子どもたちの教育に大きな関心を寄せていることを強調した。

キ　同大統領夫人は、モーリタニア初の自閉症児のための教育センターを開設し、障害児の教育とリハビリの必要性を広く認識させることに努めてきた。

ク　同大統領夫人は、この分野での政府の取組みを支援するため、障害児の母親たちと、このカテゴリーの子どもたちのための特別な教育システムの設置についての懸念を分かち合った。同大統領夫人は、就学前教育の発展のための戦略的計画の立上げを自ら監督し、現在までに5万人以上の子どもたちが就学前教育を受けられるようになったと述べた。

ケ　また昨年、「モーリタニア女性の政治的エンパワーメントのためのキャンペーンと呼ばれる国家的イニシアティブ」を立ち上げ、その結果、かなりの数のモーリタニア女性が選挙で高い地位に就くようになった。

コ　また、同大統領夫人は、モーリタニア国内の女性のための収入創出プロジェクトや、女性と女兒の権利のための国家監視所の立上げを監督した。

サ　同大統領夫人は、社会保護における現代のルネッサンスに歩調を合わせ、またそれに伴う社会的弱者をケアする専門知識の不足に対処できる人材を育成・卒業させることを目的とした主要な教育訓練施設である国立労働学校の礎石を据え、開校式を行えることを光栄に思うと述べた。

シ 同大統領夫人はまた、女性の地位向上のために教育ほど強力なものはなく、国家と人々の進歩のために女性のエンパワーメントほど効果的なものはないと指摘した。

●ガズワニ大統領の国連総会への出席等

(9月21日から29日、当地メディア各社)

1 ガズワニ大統領

(1) 21日

ファキAU委員長と会談。モーリタニアAU議長国下でアフリカ諸国の発展と重要な問題や利益の擁護に貢献するための、AUCのパフォーマンスのフォローアップと評価に焦点。

(2) 22日

ア AU議長として、第3回アフリカ疾病管理予防センター(アフリカCDC)首脳委員会会合にビデオ会議で参加。

イ ショルツ独首相と会談。会談では、モーリタニア・独関係とその発展方法、アフリカ・独関係及び共通の関心を有するいくつかのアフリカと国際的な問題について議論。

ウ テドロスWHO事務局長と会談。モーリタニア・WHO、AU・WHOそれぞれの関係及びこれらの関係を発展させ、望ましい目的を達成するために協力を強化する方法について議論。

エ グテーレス国連事務総長と会談。いくつかのアフリカの諸問題と国際情勢について議論。

(3) 23日

ア アル=サバーハ・クウェート皇太子と会談。特に外交関係樹立50周年を迎えるにあたり、望ましい目標に向けてそれを発展・前進させる方法に焦点。ガズワニ大統領はクウェート開発基金やその他のアラブ及び国際的な金融機関を通じてクウェートからモーリタニアに提供された支援に対する謝意表明とともに、クウェートに対して累積した債務問題の歴史的解決を決して忘れないことを強調。同大統領は、グリーン水素の主要生産国になる可能性を秘めたモーリタニアは、再生可能エネルギー分野におけるクウェートの経験から恩恵を受けることを希望しており、クウェートによるモーリタニアへの投資を増やし、エネルギー分野におけるインフラプロジェクト開発や技術移転のための協力を強化することを期待していると付言。

イ アフリカと炭素市場の資金調達に関するフォーラムに出席し演説。

ウ 未来サミットに出席し演説。

エ アデシナ・アフリカ開発銀行(AfDB)グループ総裁と会談。ガズワニ大

統領は、アフリカのために資源を精力的に動員しているアフリカ開発銀行のコミットメントと重要な活動を賞賛。また、2030年までに3億人のアフリカ人が電気を利用できるようにするという、アフリカ開発銀行と世銀によるアフリカ電化のイニシアチブを歓迎。さらに、モーリタニアとマリを結ぶ高圧送電線の主要な資金調達が効果的に実施されていることを歓迎し、この文脈において、モーリタニアが難民の流入や気候変動に関連する様々な課題が根強く残っているサヘル地域に属していることを想起。

(4) 24日

ア 国連総会一般討論演説。

イ ディオップ国際金融公社（IFC）専務理事と会談。モーリタニア・IFC協力関係、多くの分野における協力強化の方法について議論するとともに、モーリタニアとアフリカ大陸諸国の開発優先事項を支援する上でのIFCの役割についても議論。

ウ ストゥップ・フィンランド大統領と会談。ガズワニ大統領は、AU議長としての立場から、フィンランドとアフリカとの関係の深さと堅固さを称賛。また、2020年にモーリタニアに初の大使を任命するなど、フィンランドがモーリタニアとの協力関係の発展に特別な関心を示していること及びフィンランド大統領が個人的にモーリタニアとの関係強化に尽力していることに謝意表明し、互恵的パートナーシップの精神を高く評価。さらに、両国間の協力関係をさらに強化し、多様化させるために努力し、二国間及び国際的な共通の関心事について引き続き支援し合うことを改めて表明。

エ オスマニ・コソボ大統領と会談。二国間関係強化の方策と二国間協力について議論。コソボ大統領はガズワニ大統領の同国への揺るぎない支援に謝意表明。

(5) 25日

気候変動に関するアフリカ首脳委員会ハイレベル会合に出席し演説。

(6) 26日

マクロン仏大統領の招待を受け、「人類と地球のためのパリ・パクト・コアリション」主催のワーキング・ランチに複数の首脳と参加。席上で、ガズワニ大統領は、アフリカ諸国の発展にとり本コアリションの目的の重要性を強調し、国際社会は、アフリカを低開発か環境保全かの二者択一に追いやってはならず、アフリカは、開発促進と環境保全の双方の必要性を調和させるアプローチを必要としており、そのためには、国際社会が資金コミットメントを履行し、適切な財政・環境ガバナンスを導入するよう努めることで、アフリカを支援する必要があるとした。

2 メルズーグ外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人大臣

(1) 24日

ブリタ・モロッコ外相と会談。二国間関係強化に焦点を当て、共通の関心事に関する多くの問題についての見解の一致に満足の意を表明。

(2) 26日

ア 以下の外相とのバイ会談で、主に二国間の協力関係、それを強化・発展させる方法、共通の関心事について議論。

バロ仏外相

バーウール・リビア外相代行

ナヒヤーンUAE外相

イ アフリカの後発開発途上国外相会合に参加。

ウ カリンシュ・ラトビア外相と、モーリタニア・ラトビア政治協議の枠組みを確立するための覚書に署名。

(3) 27日

以下の外相とのバイ会談で、主に二国間の協力関係、それを強化・発展させる方法、共通の関心事について議論。

ア カイクワンバ・コンゴ（民）外相

イ ザヤーニ・バーレーン外相

ウ ナフティ・チュニジア外相

(4) 28日

以下の外相とのバイ会談で、主に二国間の協力関係、それを強化・発展させる方法、共通の関心事について議論。

ア アッターフ・アルジェリア外相

イ アブデルアーティー・エジプト外相

ウ ジョップ・マリ外相

エ クヤテ・ギニア外相

(5) 29日

デ・ミストゥーラ国連事務総長西サハラ担当特使と会談。モーリタニアと国連の協力関係やその強化方法、また共通の関心事について議論。

3 ブー経済・財務大臣（23日）

(1) ダシュティ国連事務次長兼西アジア経済社会委員会（ESCWA）事務局長と会談。会談において、双方はモーリタニアとESCWAの良好な関係を歓迎し、協力強化の方法について議論。双方は、経済モデル、デジタル・アジェンダ及びデジタル・インキュベーター分野の研修に関する協力プロジェクトの成果をレビュー。会談の中で大臣は、青少年研修分野における政府の優先事項と、経済分野における女性の積極的なプレゼンスを促進するための努力に対する支援

を強調するとともに、公共政策にジェンダーを効果的に統合する手段として、様々な部門やあらゆるレベルの財政計画にジェンダーに配慮した予算編成アプローチを取り入れる能力を構築する必要性を表明。最後に、大臣はダシュティ事務局長をモーリタニアに招待する意向を表明。

(2) ポーリエ国連事務次長補(青少年問題担当)と会談。大臣はガズワニ大統領が青少年問題を重要視していることを強調。この文脈で、若者のエンパワーメント、彼らの創造的なイニシアチブの刺激並びにトレーニング、容易な資金調達へのアクセス及び適切な新技術の促進を通じて彼らのプロジェクトを支援することにより、人口ボーナスを確実に活用するために必要なイニシアチブを構想し、実施する必要性を強調。また、若者の能力構築の分野で国連機関と協力し、政策や戦略の策定において国連の技術的専門知識を享受することへの意欲を表明し、未来を形成し、平和を築き、人類のためにデジタル革命を活用する上での若者の役割に関する国連のイニシアチブを称賛。ポーリエ事務次長補は、特に青少年に関する様々な国連機関の活動がこの分野におけるモーリタニアの政策と一致するようにすることで、モーリタニアの若者のエンパワーメントに向けた努力を支援する意志を表明。会議の終わりに、大臣は事務次長補にモーリタニア訪問を要請。

●第3回アフリカ疾病管理予防センター(アフリカCDC)首脳委員会コミュニケーション

(9月22日付、当地政府系メディアAMI)

1 ガズワニ・モーリタニア大統領・AU議長の下、各国首脳、国際パートナー及び世界の保健機関代表の参加を得て、2024年9月22日、アフリカCDC首脳委員会(CHSG)の第3回会合がバーチャル会合で開催された。

2 同会合では、2024年1月以降、29,152人の患者が発生し、2023年の同時期と比較して177%の増加となっているエムポックスの流行がアフリカの保健システムにもたらす課題に焦点が当てられた。また、アフリカの全5地域が罹患し、738人が死亡している。エムポックスは、アフリカCDCにより大陸公衆衛生安全緊急事態(USPSEC)、WHOにより国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)と宣言されている。

3 会議では、アフリカCDCによるこの伝染病の管理における積極性とリーダーシップ、そしてWHOとの緊密な連携に対し賞賛の意が述べられた。今回の流行に対応するため、大陸エムポックス準備対応計画が開始されてからの進展がレビューされた。

4 委員会は、エムポックス流行と闘うための資源動員において、1,000万人分の目標のうち約430万人分のワクチンが確保され、大きな進展があったことを認識した。目標額5億9900万ドルに対し、総額3億1400万ドルの資金拠出がコミットされ、今週、バイデン米大統領を含む主要パートナーからの追加拠出が予定されている。大陸エムポックス準備対応計画に含まれていない主要な支援として、アフリカでの現地におけるワクチン製造に係る大きな支援があり、感染症流行対策イノベーション連合（CEPI）は、ワクチン開発に7200万ドル、ルワンダのキガリの施設を含むアフリカでの製造能力強化に1億4500万ドルを拠出したと発表した。

5 委員会は、感染症を確実に抑えるために、政治的・財政的な動員を継続する必要性を強調した。AU加盟国及び地域的・世界的パートナーの積極的なコミットメントが、対応強化に不可欠であることが強調された。議長は、資金動員努力と現地の状況の包括的なレビューを含むフォローアップ評価会合を開催すると発表した。この会合は、ガズワニ大統領・AU議長とファキAUC委員長の共催の下、AUのパンデミック準備・予防・対応チャンピオンであるラマポーザ・南ア大統領の支援を得て開催される。

6 各国首脳は、エムポックス流行がもたらす公衆衛生の課題を克服する上で、集団的責任と連帯が重要であることを強調し、あらゆる部門からの支援を引き続き提唱していくとのコミットメントを再確認した。

7 委員会は、アフリカの健康を守るために揺るぎないコミットメントをしているすべての加盟国、パートナー及び組織に謝意を表すると共に、エムポックスへの強力な対応を確保するための持続的な努力を呼びかける。

●未来サミット ガズワニ大統領の演説

（9月23日付、当地政府系メディアAMI）

1 この未来サミットは、人類の運命の一体性と共通の未来に対する我々の連帯責任に対する、全ての国々と全ての人々の意識の高まりに促された、特別で貴重な機会である。

2 持続可能な開発目標を同じ道筋で、同じメカニズムで、同じペースで追求し続けられれば、貧困を撲滅し、平和と安全を確立し、地球の生態系バランスを回復し、地球規模の持続可能な開発を達成することは、当面不可能であろう。

3 目標達成に向けた歩みを止めたり、遅らせたりすれば、我々の現在と地球の未来、そして将来の世代に壊滅的な影響を及ぼすことは周知の事実である。だからこそアフリカ大陸は、連合として、また国として、SDGsに完全に沿ったアジェンダ2063の実施に相当な努力を払ってきたのである。

4 この文脈において、モーリタニアは、他のアフリカ諸国と同様、暴力、テロリズム、貧困及び脆弱性と闘い、人的資本の促進と回復を図り、アフリカ経済統合の達成に貢献するために熱心に取り組んできた。

5 しかし、地域レベルでも国際レベルでも、このような状況下で達成された全体的な成果は、求められているものには及ばない。さらに、戦争、紛争、経済危機、気候変動、債務負担及び国際的・政治的・経済的ガバナンスの不均衡が、安全保障と開発の面で達成された成果を損なってきた。

6 そして、これらの課題すべてに対処するためには、国際社会は、人々や国々との信頼と連帯を新たに築き、多国間協力を新たな活力を生み出し、金融及び政治の両面における国際ガバナンスのルールを再構築することで、SDGsの実施を加速するための共通行動プログラムを定める抜本的かつ効果的で効率的な解決策を模索しなければならない。

7 現在AU議長国を務めるモーリタニアは、「未来のための協定」の採択を歓迎するとともに、この壇上から、我が大陸が国際的なアジェンダにおいてその優先事項が確実に考慮されるために必要な力強さをもってその声を届けることができるよう、国連システム、とりわけ安全保障理事会の改革の呼びかけを新たにする。

8 また、我々が共に地球を絶滅から救い、世界のすべての人々に繁栄をもたらす世界的な持続可能な発展を築くことができるようにするため、債務問題の解決、増大する環境問題に対応するための協力の強化、多国間協力の推進及び国際の平和と安全の保証を呼びかける。

●アフリカと炭素市場の資金調達に関するフォーラム ガズワニ大統領の演説
(9月23日付、当地政府系メディアAMI)

1 エネルギーと気候変動の課題に対応し、より強靱で持続可能な開発を構築

するために、アフリカの再生可能エネルギーの潜在力と、炭素市場クレジットのファイナンスを利用した開発の可能性について議論する貴重な機会を与えてくれたことに感謝。

2 このテーマに関して、自分はず、アフリカが驚くべき二重のパラドックスを経験していることを指摘したい。アフリカは、温室効果ガスの生産に最も貢献していない大陸であり、その壊滅的な影響に最も苦しんでいる大陸でもある。

その一方で、再生可能エネルギーの潜在力が最も高い大陸でありながら、エネルギー供給が最も少ない大陸でもあり、SDGs目標7ターゲット1が安価かつ信頼できるエネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保することであるにもかかわらず、6億人以上のアフリカ人が電気にアクセスできていない。

3 世界人口の6分の1を擁するアフリカは、世界のエネルギー消費量の6%にも満たず、排出量も世界全体の2%にも満たない。それにもかかわらず、世界全体の太陽エネルギー潜在力の60%、脱炭素化に必要な戦略的鉱物の40%、相当量の風力及び水力発電資源、そして膨大なグリーン水素の潜在力を有している。

4 例えば、自分の国モーリタニアには、4,000GWを超える再生可能エネルギーの潜在力があり、そのうちの500GWは、技術的にも環境的にも大きな制約を受けることなく、太陽光発電と風力発電の間の卓越した相互補完性によって、今日利用可能な商業的潜在力である。

我々の最終的な野心は、2050年までに世界の水素市場の1%及びグリーン・スチール市場の1.5%を獲得することである。我々は十数件の覚書を交わしており、そのうちの2件は準備が進んでいる。投資額は約500億ドルで、国家経済への影響は20年間にわたり年率10%と見積もられている。

この巨大なエネルギー潜在力を引き出すためには、アフリカ大陸全体と同様、モーリタニアも、大陸特有の制約を考慮し、開発と気候変動との闘いという要請を組み合わせた、より好循環的な南北協力が必要である。また、技術移転も必要であり、特に、すべてのプロジェクト構成において、ローカル・コンテンツを体系的に利用する必要がある。

5 一方、この潜在力を活用するためには、インフラへの大規模な投資と、グリーン経済が提供する機会を利用できるようにするための、利用可能な財源、特にいわゆる気候資金への公平なアクセスが必要である。

したがって、気候変動資金を活性化させ、重要な役割を果たし得る炭素市場を

後押しすることによって、アフリカの人々が気候資金にアクセスしやすくすることが必要である。

6 そして、このフォーラムを通じて我々が行う議論が、炭素市場を活性化し、アフリカ諸国がより大きくアクセスできるようにする方法を特定する助けとなり、それによってアフリカ諸国が再生可能エネルギーの潜在力を引き出し、大陸の持続可能で包摂的な開発を加速させる一助となることを確信している。

●第79回国連総会 ガズワニ大統領の一般討論演説

(9月25日付、当地政府系メディアAMI)

1 まず、ヤン第79回国連総会議長の就任を心から祝し、その成功を祈るとともに、フランシス前議長の前会期における英知と手腕に祝意を表す。また、グテーレス国連事務総長が、我々の組織を発展させ、地球規模の持続可能な開発の達成に向け、世界が直面するさまざまな課題に立ち向かう我々の意志を効果的に表現する機関としての役割を強化するために尽力されたことに、心から謝意を表す。

2 我々のサミットのスローガンである「誰一人取り残さない：平和、持続可能な開発及び現在と未来の世代の人間の尊厳のために共に行動する」は、国連憲章の目的と目標を力強く明確に要約し、それと同時に現存する課題に対処するために我々の協力を強化し、努力を調整する必要性に対する我々の集団的認識の深さを反映している。

3 我々の世界が経験した、そして現在も様々なレベルで経験している激しい衝撃と未曾有の危機は、我々が2030アジェンダで集団的に行ったコミットメントを履行する能力を、個人的にも集団的にも著しく弱めている。

4 (1) 現在の国際情勢は、特に我々のアフリカ大陸において、持続可能な開発の努力に大きな悪影響を及ぼしている。アフリカ大陸は、すでに構造的・状況的な不均衡や障害に苦しんでおり、それが開発の努力を妨げ、2030年及び2063年アジェンダの達成に向けた前進を遅らせている。

(2) 我々の大陸は、テロリズムや武力紛争の広がり、気候変動による破壊的な影響の増大は言うに及ばず、貧困、脆弱性、失業、質の面でも包括性の面でも劣悪な保健・教育システムに依然として苦しんでいる。

(3) このようなアフリカの暗澹たる状況は、アフリカ大陸諸国の莫大な債務負担を軽減し、開発援助システムと国際政治・金融ガバナンスにおける明らかな不

均衡を是正し、多国間協力全般を強化する緊急の必要性を強く示している。

(4) これらすべてのことが、アフリカが経済的に飛躍し、持続可能な開発のための2030アジェンダを達成するためにアフリカ諸国と国際社会が交わしたコミットメントを履行するための努力の効果を最大化することにつながるだろう。

5 (1) モーリタニアでは、このコミットメントに沿って、SDGsの達成を、すべての公共政策に組み込まれた中心的な目標としている。

(2) 持続可能な開発に関する国連2024年報告書において、我々の順位が向上したことが示すように、我々の国ではSDGsの多くの指標をわずかではあるが向上させることができた。

(3) これは、強力な制度によって法の支配を強化し、民主主義と個人的・集団的自由を促進し、対話と協議の精神を公務運営の不変の方法として採用し、司法の独立を支持し、透明性を採用し、行政・財政を問わず浪費(gabegie)やあらゆる形態の腐敗と闘うという、我々の集中的な努力によって可能となった。また、奴隷制の遺産とその現代的形態、人身売買、女性と子どもの権利保護、非正規移民と国際犯罪との闘いなど、人権の保護と促進に向けた我々の継続的な努力のおかげでもある。

(4) さらに、我々の包括的な安全保障戦略の効果的な実施を通じて、地域的・国際的環境における広範な暴力、テロリズム及び政治的・社会的危機にもかかわらず、安全、平和及び安定を確保することができた。

(5) 我々はまた、自国の進歩と成長・発展の促進における若者の役割に細心の注意を払い、彼らに訓練や資格を与え、社会生活に溶け込ませ、公務の管理職における彼らの存在感を高めることを目的とした計画や戦略の策定に注力してきた。

(6) これらの行動はすべて、我々の国民的団結と社会的結束を強固にする上で積極的な役割を果たしてきた。我々は、排除、不公正及び不安定さの様々な出現をなくすために集中的な努力を払い、貧困層の日常生活における制約の負担を軽減し、彼らの強靱性を強化し、あらゆる公共サービスへのアクセスを可能にすることを目的とした、広範かつ多様な社会的セーフティネットを整備することによって、その強化に努めてきた。

(7) 我々はまた、平等と公平の価値を体現し、平等な条件のもとですべての人に質の高い教育を保証する共和国学校を設立することを目的として、有望な教育制度改革に着手した。我々はまた、保健サービスの開発と供給の改善、医薬品へのアクセスの確保、従来保険制度ではカバーされない国民のための健康保険費用負担基金の創設、特に母親、高齢者及び障害者のための基本的な医療サー

ビスの無料化を確保するための努力を倍加させた。

(8) 我々は、気候変動と環境問題が地球上に及ぼす悪影響、及び特にアフリカ大陸全般とサヘル地域に強い政治面や安全保障面で影響を及ぼす経済的・社会的影響を認識し、2030年までに二酸化炭素排出量を11%削減し、総エネルギー消費量に占める再生可能エネルギーの割合を50%に引き上げることに取り組んできた。この分野での我々の努力は、グリーン水素開発の膨大なプログラムによって強化される。

今日、総エネルギー使用量の48%を占めるクリーンエネルギーを推進する我々の努力に加え、モーリタニアは、「緑の巨壁」イニシアティブや「サヘルにおける干ばつの影響と闘うための混合委員会」の一環として、砂漠化との闘いを続けている。

この文脈で、自分は、昨年末にUAEで開催された第28回気候変動枠組条約締約国会議(COP28)の成果を強調し、本年アゼルバイジャンで開催される次回のCOP29で、この環境面での進展が強化されることを期待したい。我々は、工業先進国が排出削減のコミットメントを守り、パリ・サミットでの約束を履行することを希望する。

6 モーリタニアにおいて我々は、友好、信頼及び相互尊重に基づいてこそ、国家間の協力が実りある効果的なものになると確信している。

我々の外交政策が、他国の内政への不干渉、協力と友好の促進、国際平和と安全の維持、そして国際法並びに国連、AU、アラブ連盟及びイスラム協力機構の各憲章に基づく公正な大義への支援に基づいているのはこのためである。

この文脈において、我々は次のことを強調したい。

(1) イスラエルが国際法及び国際人道法に著しく違反し、無防備なパレスチナ人民に対して行った大量虐殺戦争を強く非難する。我々は、この大虐殺の即時停止を要求し、アラブ和平イニシアティブと関連する国際決議に従い、東エルサレムを首都とする独立国家の枠組みの中で、パレスチナ人民の尊厳と主権の権利に対するコミットメントを宣言する。

(2) 我々は、現在のイスラエルによるレバノン侵略を糾弾・非難し、その即時停止を要求する。

(3) 我々は、兄弟国であるリビアの統一と主権を維持する解決策を見出すことを呼びかけ、また、アフリカの取組みを強化し、この点に関する国際的な取組みを支援することを強調する。

(4) 我々は、兄弟国スーダンの安全、安定、主権及び領土一体性を支持し、戦争の即時終結を達成し、兄弟国スーダンの人々の人道的苦痛に終止符を打ち、国際人道法の尊重を確保するために、問題を解決するための対話と理性を呼びか

ける。

(5) 我々は、兄弟国シリアの統一、独立及び尊厳と、同国民が安全と平和のうちに生きる権利を保持する政治的解決を達成する決意である。

(6) 我々はイエメンの正当性を支持し、アラブのイニシアティブと関連する国際決議に従った平和的解決を呼びかける。

(7) 西サハラ紛争に関する我々の確固たる立場と、永続的かつ相互に受け入れ可能な解決策を見出すことを目的とした国連の努力と、関連するすべての安保理決議を支持する。

(8) ロシア・ウクライナ戦争の継続に対する我々の懸念と、国際法と国連憲章に従い、戦争を終結させ、両当事者の懸念に配慮し、地域と世界における新たな悲劇と破壊を回避する解決策を呼びかける。

7 昨日閉幕した「未来サミット」は、我々の共通の未来に対する責任の大きさに対する我々の共通認識の深さを明らかにするとともに、サミットで採択された計画や措置を通じて、我々は、安全、平和、繁栄、そしていかなる人々もいかなる国も排除しない包括的で持続可能な開発の未来を実現できることを確認した。

だからこそ、我々の中の信頼を強化し、多国間協力を強化し、政治と金融の両面で、我々の国際ガバナンスのルールの改革を加速させ、より公平で、よりバランスのとれた、より衡平なものにしようではないか。

そうすれば、神のご意思により、我々は地球を破滅から救い、我々の現在と未来の世代に明るい未来を約束することができる。

●気候変動に関するアフリカ首脳委員会ハイレベル会合 ガズワニ大統領の演説

(9月26日付、当地政府系メディアAMI)

1 我々は、アゼルバイジャンで開催される国連気候変動枠組条約第29回締約国会議(COP29)まであと数か月に迫っているが、このような調整と協議のアプローチにより、間違いなく、大陸全体でより強力な集団行動をとるという緊急の必要性に応えることができるだろう。

2 このことを念頭に、2023年9月に第1回アフリカ気候サミットを開催し、気候変動に関するナイロビ宣言の採択につながった首脳会議についても、心からの祝意を表したい。この宣言は、UAEで開催されたCOP28において、明確かつ強力な大陸の立場を結晶化する上で決定的な貢献を果たした。この団結と共通ビジョンのおかげで、アフリカは国際舞台でその声を届けることがで

きた。

3 我々が責任を持って引き受ける我々の委員会の特権的な役割は、アフリカ共通の立場の先頭に立つことであり、我々は、我々の利益を守り、気候変動に関する国際交渉において我々の大陸が声を一つにして発言することを確保することにコミットしている。

我々の集団行動は我々の強みであり、この団結は、COP29に向けて準備を進める今後数か月の間に、これまで以上に必要とされるものである。

このような目標を達成することは、緩和策と適応策のための資金を得るための必須条件であり、我々の国々がより緊密に協調する必要がある。

したがって、気候変動の影響に対して最も脆弱な大陸であるアフリカが、持続的かつ予測可能な資金援助の確約を求めるために、議論に全面的に参加することが不可欠である。

4 自分はまた、モーリタニアがグリーン経済、特に水素の分野において、世界の舞台で主導的な役割を果たすことに強くコミットしていることを強調したい。

我々は、我々の莫大な再生可能エネルギーの潜在力を、大陸と世界経済のために役立てる用意がある。毎秒9メートル以上の風がほぼ一定に吹く750キロメートルの海岸線は、大規模な風力発電所を建設するまたとない機会を提供している。

同様に、我々の領土は、年間1平方メートルあたり2000~2300キロワット時と推定される並外れた日照量の恩恵を受けている。

これらの資源は、モーリタニアを、ひいてはアフリカを、低炭素経済への移行とグリーン水素製造の重要な担い手にするものである。

我々の努力は、アフリカ大陸の兄弟達の努力と相まって、世界規模での温室効果ガス排出削減に決定的な貢献をすることができると確信している。

5 不確実ではあるが有望な未来に向けて共に歩むにあたり、アフリカが団結し、決意と野心を持ち続け、資源、機会及び共通の潜在力を、国民と将来の世代のための具体的な行動に変えていくことが不可欠である。